

3-3 サイン計画

3-3-1 基本的な考え方

- 子どもたちが主な利用者であるという本施設の性格をふまえ、サイン計画では以下の点に留意します。
- 施設の性格上子どもたちの安全確保に関するサインを除き、行動を規制する禁止事項サインなどの設置を極力控えます。同時に、大人への禁止事項（子どもの行動への過度な口出し、写真撮影の際の留意点など）についても、パンフレットやスタッフによる声かけなどにより、対応することを基本とします。

■子どもにもわかりやすいサイン

- ・ 部屋の場所や名前などが一目で子どもたちにとって、視認性が高く、わかりやすいサインとします。そのため、文字の大きさや色・形、設置場所に配慮します。

■楽しさを表現するサイン

- ・ 主な利用者である子どもたちはもちろん、本施設を訪れた保護者や地域の人々も楽しさを感じることができるサインとします。

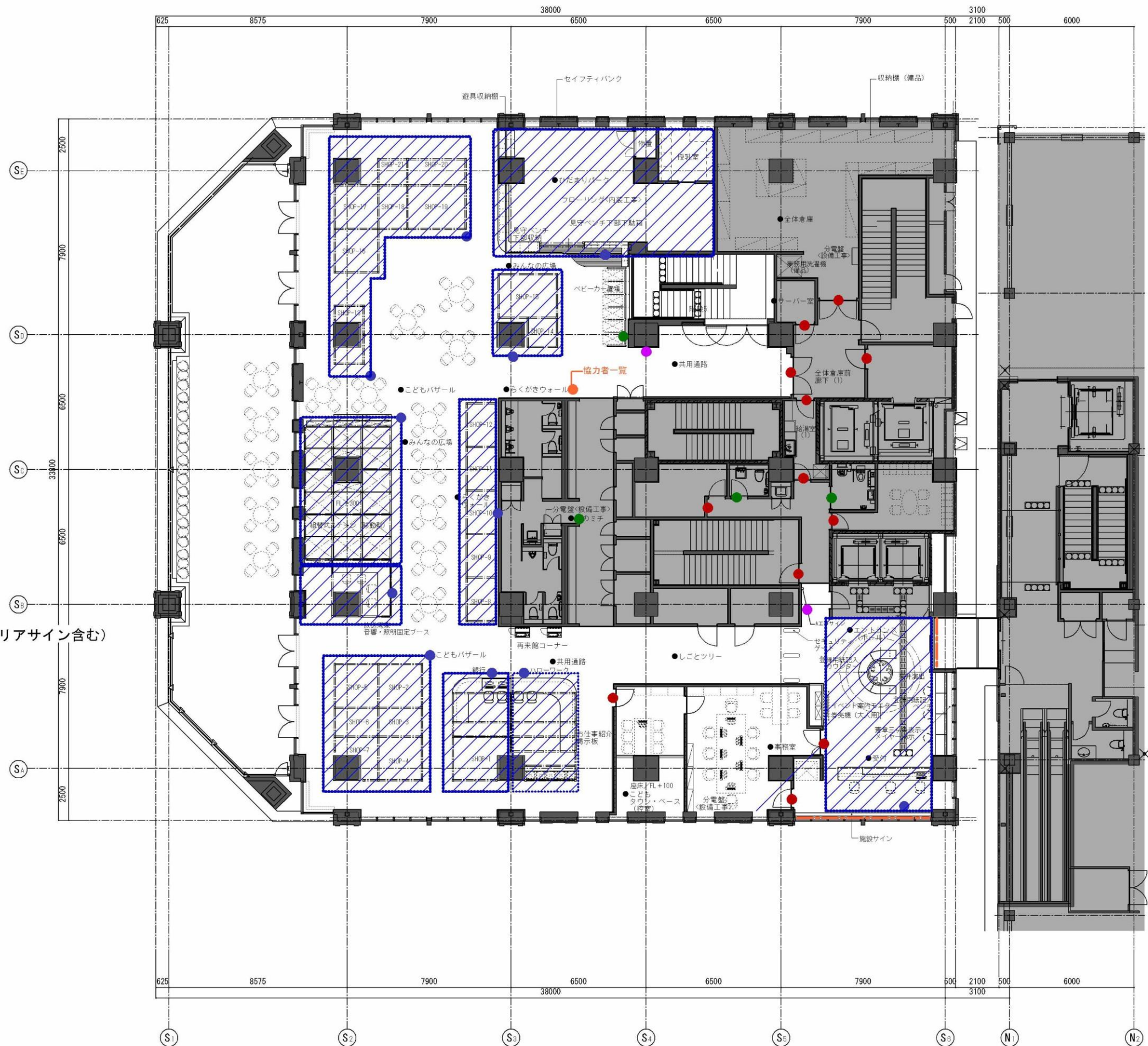
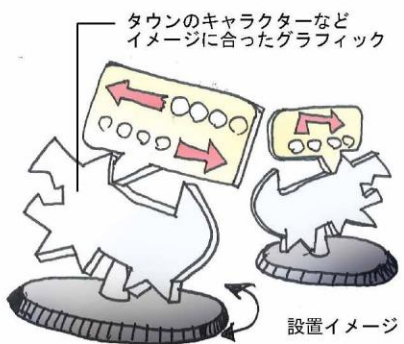
3-3-2 サインの種類と配置

[こどもバザール(3F)]

- 館内マップサイン
- ゾーンサイン (住所表示)
- 注意禁止サイン (スタッフ専用エリアサイン含む)
- トイレサイン
- 館名サイン

館内案内サイン

自立サインスタンドを設置し、館内の各ゾーンへのサインとする。



[こどもファクトリー(4F)]

